

新型コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ  
～2020年5月17日(日) 18時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

5月14日(木)～17日(日)

- 17日(日) 15時現在, 州内感染者数は前日比1162人増(+2%)の6万2345人, うちサンパウロ市が3万5931人, オザスコ市が1731人, グアルーリョス市が1528人, サン・ベルナルド・ド・カンポ市が1446人と続く。州内死者数は同186人増(+2%)の4782人で, うちサンパウロ市が2596人。全体の致死率は7.7%, 60歳以上の死者の割合は72.9%。感染が確認されているのは州内645市のうち463市(前日455市), 死者は213市(前日212市)。入院感染患者数は1万100人超。州内公立病院のICU占有率は73.9%(前日68.5%), サンパウロ大都市圏内は同92.2%(前日83.9%)。
- 17日(日)の州の社会的隔離実施率は54%(前日50%), サンパウロ市の実施率は56%(前日52%)。なお, 同日の実施率トップは引き続きサン・セバスチャン市の66%。
- 16日(土), サンパウロ州政府は, サンパウロ州消費者保護団体(Procon-SP)が3月中旬から5月14日(木)までに同団体が受けた新型コロナウイルス関連の相談1万5千件のうち, 6千件はクレームであったと発表。そのうち最も多くクレームが寄せられた業種は旅行代理店(3231件)で, その後に航空会社(1573件), 薬局・商店・スーパー(682件)等と続く。
- 15日(金), サンパウロ州政府は, 州内の新型コロナウイルスの検査拡大のため, 簡易検査キットを新たに200万個購入したと発表。同日より警察関係者に対する抗体検査が開始され, その後, 医療関係者等へも検査を拡充していく方針。
- 14日(木), サンパウロ州政府は, サン・ベルナルド・ド・カンポ市に新型コロナウイルス対応専門の新たな緊急病院を落成したと発表(一般病床170床, ICU80床, 医療従事者1500人)。
- 17日(日), サンパウロ市は, 11日(月)からの新たな車両交通規制(「rodízio」)の導入により, 市内を通行する車両が1日あたり平均150万台程度減少したものの, 社会的隔離実施率は向上しなかったとして, 18日(月)より, 従来の車両交通規制を再開すると発表。
- 17日(日), サンパウロ市は, 不要不急の商業活動を規制する市の条例を遵守しなかった398の商店等の施設がこれまで市当局により営業停止処分を受けたと発表。
- 15日(金), サンパウロ市は, 中国の深圳市よりマスク3万枚の寄付を受けたと発表。サンパウロ市国際関係局が深圳市国際関係事務所と調整を行ったもの。マスクは14日(木)にサンパウロ市保健局に引き渡され, 今後市立病院の医療従事者用に配布される。
- 15日(金), サンパウロ市は, 市内の飲食店と共同実施している食料供給プロジェクト「Projeto Rede Cozinha Cidadã」を通じ, 同日までに約17万食の食事を路上生活者に提供したと発表。同プロジェクトは, 外出自粛期間中に経営が落ち込む飲食店を財政的に支援する役割もあり, 弁当を一つ提供する毎に, 飲食店に対して市より10リアルが支払われる仕組みとなっている。

2 マット・グロソ州

5月13日(水)～17日(日)

- 17日(日) 18時現在, 州内感染者数は前日比44人増の901人, うち州都クイアバ市が274人, ロンドノーポリス市が91人, ヴァルゼア・グランデ市が76人と続く。入院患者数は70人(うち39人がICU)。州内死者数は14日(木)に25人目(48歳男性, ルアンドラジーナ市), 15日(金)に26人目(60歳男性, ヴァルゼア・グランデ市, 高血圧症と糖尿病を患っていた)及び, 16日(土)に27人目(53歳男性, ロンドノーポリス市, 高血圧症と糖尿病を患っていた)が確認された。統一医療保健シ

システム（SUS）に参加する州内病院における新型コロナウイルス感染患者向けのICU病床の空きは206床（占有率12.3%）、一般病床は637床（同2.6%）。

- 15日（金）、同州政府は州知事夫人が中心となり、州内35市の先住民コミュニティを対象に食料基本セット3500個や衛生用品を配布すると発表した。「Vem Ser Mais Solidário」と題した社会支援活動の一環。
- 15日（金）、同州教育局は、種苗企業Att Sementes（ロンドノーポリス市）よりマスク200枚の寄付を受けたと発表。同社は同市の教員にもマスク600枚を寄付した。
- 14日（木）、同州政府はブラジル・ライオンズクラブ国際協会より医療用マスク2万7千枚の寄付を受けたと発表。同マスクは州内各地の病院に配布される予定。
- 14日（木）、同州政府は11日（月）に窓口対応を再開した州検察局がイベントや会合の開催延期のほか、入り口での70%アルコール・ジェルの設置、社会的距離の確保、職員のマスク着用等の必要な措置を講じていると改めて発表。感染拡大防止策の一環。
- 13日（水）、同州政府は関係団体と連携の上、州内刑務所職員の家族や出所者等に対し、食料基本セット100個や受刑者が作成したマスクを配布したと発表。
- 15日（金）、クイアバ市は市内集合住宅での社会的隔離に関する新たな規則を発表した。建物内でのマスクの着用を義務化し、来訪者の受入れも避けるよう推奨。建物内の運動・遊技スペース等の集団利用も禁止。
- 14日（木）、クイアバ市は感染拡大の防止及び社会保護の観点で、市内の路上生活者23人を市の施設やホテルで保護したと発表。社会的距離の確保の重要性などを合わせて伝える方針。
- 14日（木）、クイアバ市は新型コロナウイルス収束後を見据えた財政均衡策の検討を開始したと発表。

### 3 マット・グロッソ・ド・スル州

5月13日（水）～17日（日）

- 17日（日）正午現在、州内感染者数は前日比52人増の570人、うち州都カンポ・グランデ市が174人、トレス・ラゴアス市が98人、ギア・ロペス・ダ・ラグナ市が91人と続く。入院患者数は23人（うち11人がICU）。州内死者数は15日（金）に16人目（53歳男性、トレス・ラゴアス市、糖尿病を患っていた）が確認された。なお、同日にドウラードス市内の病院でパラグアイ国籍の61歳男性の死亡が確認されたが、入院前は同国に暮らしており、同州の死者数には含まれていない。この他、カンポ・グランデ市で実施したドライブスルー形式の感染検査数2064人のうち47人が、ドウラードス市では214人のうち12人が、トレス・ラゴアス市では184人のうち20人が陽性を示した。コロンバ市では30人を検査し、引き続き感染者は確認されなかった。
- 15日（金）、同州政府はブラジル全国で新型コロナウイルスの感染が拡大している中、他州に居住している元州民の帰郷が増えていると発表。同州の感染者数が最も少ないことなどを受けたもので、同州保健局長はこうした元州民に対しても、必要な医療を保障する旨説明。
- 14日（木）、同州政府は、セルロース関連企業Eldorado Brasil（トレス・ラゴアス市）が防護具7万点以上や衛生用品・食料を州内11市に寄付すると発表。同州環境・経済開発・生産・家族農業局（Semagro）と連携したもので、13日（水）に同市で贈与式が行われた。
- 14日（木）の州の社会的隔離の実施率は37.9%と全国ワースト3となった。同州では目標の50%に届かない状況が続いている。
- 13日（水）、同州政府はドウラードス地域病院で一般病床を32床新設したと発表。これを踏まえ、同病院の新型コロナウイルス感染患者向けの一般病床数は120床となった。ICUは51床。
- 14日（木）、カンポ・グランデ市は商店が並ぶ市内ジャルジン・センテナリオ区及びアエロ・ランショ区で消毒活動を実施したと発表。

（了）